

# 若年認知症の親と向き合う子ども世代のつどい 【まりねっこ】の紹介

2012年12月より開始、3ヶ月に1度の頻度で集まっています。  
悩みや思いを語り合い、情報交換もしています。

- 自分の都合を優先したら、親から「あなたは好きに出かけられていいわね」と言われ、親をないがしろにしているようで、罪悪感に苛まれた。
- 親の面倒を見ているとは言えず、友人の誘いを断っていたら友達が減ってしまった。
- 介護している親への対応、親の病気をどう受け止めたらよいか…。
- 子育てとの両立でダブルケアをしている  
…など



自分の人生、友人関係、親へのケアとの両立をどう考えたらよいかなど、立場が違う者同士が多くの悩みを分かち合います。

## まりねっこ Instagramアカウント 【marinekko.team】

インタビューを終えて…

子ども・若者ケアラーにとって、介護のことを人に話すということはとても難しいことであると感じさせられました。伊藤さんがお話されていたように、ケアラーには周囲に介護のことをわかってほしいという気持ちがあっても、理解されないのではないかと不安に感じ、話すことを躊躇したり諦めてしまう人が多いようです。ケアラーの存在に気づき、見守り、不安や困難なことを一緒に考えられる人が近くにいたら、大きな心の支えになるのでしょう。

わたぼうしでは、若年性認知症の学習会を今後も行っていく予定です。詳細は、HP・ちらし等でお知らせいたします。

八王子ケアラーズカフェわたぼうし 営業日:火曜日～土曜日  
(日曜、月曜、祝日を除く)  
お問い合わせ (042) 686-2779 10:00～16:00



# わたぼうし

通信 号外 令和3年11月

## 知ってほしい 子ども・若者ケアラーについて

八王子ケアラーズカフェわたぼうしでは、昨年より「若年性認知症を知る」というテーマで学習会を企画し、今年の3月には「子ども・若者ケアラーの支援について」を開催しました。家族のケアを担う子ども・若者は自身が「ケアラー」であるとの自覚に乏しく、支援が必要なにもかかわらず家族を支援するのは当然と考え、生活の大変さを表に出さずにいる、または出せずにいる可能性があります。まずは、周囲の大人たちが目を配り、その存在を発見し、理解者になることが必要と考え「子ども・若者ケアラー」特集号をお届けいたします。

### ■ ヤングケアラー(子どもケアラー)

家族にケアを要する人がいる場合に、大人が担うようなケア責任を引き受け、家事や家族の世話、介護、感情面のサポートなどを行っている、18歳未満の子どものこと。

### ■ 若者ケアラー

18歳～おおむね30歳代までのケアラーを想定しています。ケアの内容は子どもケアラーと同様ですが、ケア責任がより重くなることもあります。若者ケアラーには、子どもケアラーがケアを継続している場合と、18歳を超えてからケアが始まる場合とがあります。

(日本ケアラー連盟ヤングケアラープロジェクトより)



小中高生の中には家族のケアをしている子もいるんだよ！



イギリスやオーストラリアなどには、ケアラーを支援する法律があるよ！



(日本ケアラー連盟の資料を参考)

ヤングケアラーは、年齢に見合わない負担を担うことで、勉強や学校生活、将来の選択の幅にも影響が生じる場合があります。又、介護や家事と、仕事との両立に悩むこともあります。周りには話せないという孤独を感じている方もいます。